

12/7 <講演会>「スポーツ経済学・日大問題で明らかになった「ブランド」の大切さ」（産経新聞×産業研究所連続講演会「関西の地域振興と国際化」第3回（全5回）報告

2018年12月7日（金）に産経新聞大阪本社編集局運動部部長の北川信行氏、産経新聞東京本社編集局社会部記者（前大阪本社 編集局社会部記者）の原川真太郎氏をお招きして、産研講演会「スポーツ経済学・日大問題で明らかになった「ブランド」の大切さ」を開催いたしました。

北川氏からは、日大アメフト部の悪質タックル問題を皮切りに今年次々と発覚したスポーツ界の組織風土や慣習に起因する不祥事を事例に、大学ブランドの強化のために大学スポーツはどうあるべきか、などについて、お話しいただきました。

また、原川氏からは、大阪本社の社会部記者として、悪質タックル問題に関して関学大が行ったすべての記者会見を取材した立場から、日大と関学大の実際の記者会見の内容を具体的にしながら、両大学の対応の違いが両大学の「ブランド」にどのように影響したか、についてお話しいただきました。

講演後は、産経新聞大阪本社編集企画室次長の田井東一宏氏が加わり、3者でのディスカッションも行われました。

（この講演会は経済学部開講「経済事情F（担当教員：高林喜久生教授）」の一環として開催いたしました。）

■参加者：49名

北川信行氏



原川真太郎氏



田井東一宏氏

